

S D S [製品名 PPC-16 パフソルエアゾール] 08730-K9009  
 整理番号 [ ]

株式会社 プリーマタイヤサプライズ

## 安全データシート

作成 2014年5月9日  
 改訂 2023年2月13日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : PPC-16 パフソルエアゾール 08730-K9009  
 会社名 : 株式会社 プリーマタイヤサプライズ  
 住所 : 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-25-14 第二関根ビル 2階  
 担当部門 :  
 電話番号 : 03-3358-6908 (FAX 番号 03-3358-6954)  
 緊急連絡先 : 同上  
 整理番号 :

## 2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

物理化学的危険性

エアゾール : 区分1

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激 : 区分2

刺激性

発がん性 : 区分2

生殖毒性 : 区分1 B

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分1

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分3 (気道刺激性)

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分3 (麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分1

吸引性呼吸器有害性 : 区分1

環境有害性

水生毒性-急性 : 区分1

水生毒性-慢性 : 区分2



注意喚起語：危険

危険有害性情報

極めて可燃性、引火性の高いエアゾール

引火性の液体及び蒸気

飲み込むと有害のおそれ

吸入すると有害のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害

呼吸器への刺激のおそれ

眠気やめまいのおそれ

長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ  
水生生物に非常に強い毒性  
長期継続的影響により水生生物に毒性  
物理的及び化学的危険性  
燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物質

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法 No.
エチルベンゼン	30.7	100-41-4	(3)-28 (3)-60
キシレン (異性体混合物)	25~35	1330-20-7	(3)-3 (3)-60
プロパン	10~20	74-98-6	(2)-3
ブタン	18~28	106-97-8 75-28-5	(2)-4

#### 危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

キシレン (異性体混合物)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

エチルベンゼン、キシレン (異性体混合物)、ブタン

化管法「指定化学物質」該当成分

エチルベンゼン、キシレン (異性体混合物)

### 4. 応急措置

#### 一般的な措置

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

特別な治療が必要である。

暴露した場合：医師に連絡する。

#### 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪い時は、医師に連絡する。

#### 皮膚に付着した場合

多量の水と石鹸で洗う。

直ちに医師に連絡する。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受ける。

#### 目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受ける。

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせてはならない。

直ちに医師に連絡する。

### 5. 火災時の措置

#### 適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

粉末消火器、炭酸ガス、乾燥砂。

#### 特有の危険有害性

エアゾール缶が高温にさらされると、缶が破裂する恐れがある。

特有の消火方法

可燃物を周囲から取り除き、高温にさらされるエアゾール缶や周囲の設備には水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護

防火服や耐火服を着用する。

断熱手袋や保護眼鏡等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩した場合、漏洩物を回収する。作業には適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和ならびに封じ込め及び浄化の方法

漏出源を遮断し、漏れをとめる。

少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。

大量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収する。

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

すべての発火源を取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は設置する。

関係者以外は近づけない。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策

火気厳禁。

電気機材は防爆構造にする他、静電気、スパーク等により着火源を生じないようにする。

静電気対策を行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる。

安全取扱い注意事項

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

換気のよい場所で使用する。

必要な保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

高温にすると破裂の危険があるため、直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。

水のかかる所や湿気の多い所に置かない。

8. 暴露防止及び保護措置

成分の暴露濃度基準

成分名	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
エチルベンゼン	未設定	50ppm	TWA 100ppm
キシレン（異性体混合物）	50ppm	50ppm	TWA 100ppm
プロパン	未設定	未設定	TWA 1000ppm
ブタン	未設定	50ppm	TWA 800ppm

保護具

呼吸器の保護具

換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用する。

- 手の保護具  
 保護手袋を着用する。
- 目の保護具  
 保護眼鏡を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具  
 保護手袋及び保護衣を着用する。  
 顔面保護具を着用する。
- 衛生対策  
 取扱い後は汚染箇所をよく洗う。  
 この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には選択する。

## 9. 物理的及び化学的性質

	内容液	噴射剤
形状	液体	ガス状 (大気圧下) 液体 (容器内)
色	無色透明	無色透明
臭い	溶剤臭	無臭
pH	データなし	データなし
融点	データなし	-187.7~-138.4℃
沸点	133.0℃	-42.1~-0.5℃
引火点	25.0℃	-104.4~-73.8℃
発火点	データなし	405~550℃
爆発限界	データなし	上限 9.5vol% 下限 1.8vol%
比重	0.8684 (20℃)	0.535~0.555 (20℃)
蒸気密度	データなし	データなし
溶解性	非水溶性	水に微溶

## 10. 安定性及び反応性

### 安定性

予期される通常の保管および取扱いの条件において安定と考えられる。

## 11. 有害性情報

製品に関する有用な情報なし。

個別成分についての有害性情報を記載する。

### エチルベンゼン

- 急性毒性 (経口) : LD50=3500mg/kg (ラット) (EHC 186 (1996))
- 急性毒性 (吸入-蒸気) : LC50=17.2mg/L (ラット) (ATSDR (1999), EHC186 (1996))=4,000ppm
- 皮膚腐食性/刺激性 : 15mg/24H open (ウサギ); MILD
- 発がん性 : IARC-Gr. 2B; ヒトに対して発がん性があるかもしれない。  
 : ACGIH-A3 (1998); 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明。  
 : 日本産衛学会-2B; ヒトにおそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分でない物質。
- 生殖毒性 : SIDS (2005) et al
- 特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 2 (中枢神経系) (CERI ハザードデータ集 (1998))  
 : 区分 3 (気道刺激性) (CERI ハザードデータ集 (1998))
- 吸引性呼吸器有害性 : hydrocarbon, kinematic viscosity=0.74mm<sup>2</sup>/s (25℃)

キシレン (異性体混合物)

急性毒性 (経口)	: LD50=3500mg/kg(ラット) (環境省リスク評価第1巻(2002))
皮膚腐食性/刺激性	: 500mg/24H; MODERATE
眼損傷性/刺激性	: 87mg(ウサギ); MILD 5mg/24H(ウサギ); SEVERE
発がん性	: IARC-Gr. 3; ヒトに対する発がん性については分類できない。 : ACGIH-A4(1992); ヒト発がん性因子として分類できない。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 区分1 (呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓) (CERI・NITE 有害性評価書 No. 62(2004) et al) : 区分3 (麻酔作用) (CERI・NITE 有害性評価書 No. 62(2004) et al)
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 区分1 (呼吸器、神経系) (CERI・NITE 有害性評価書 No. 62(2004) et al)
吸引性呼吸器有害性	: ID16(2006), ICSC(2002)

プロパン

急性毒性 (吸入一気体)	: LC50/2H>55000ppm(4時間換算値>38890ppm) (モルモット)
皮膚腐食性/刺激性	: ヒトでは軽度の紅斑のみが一過性に認められ、皮膚一次刺激性は無視し得る程度であったとの記述。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 区分3 (麻酔作用)

ブタン

急性毒性 (吸入一気体)	: LC50/4H=277374ppm(ラット)
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 区分3 (麻酔作用)

---

## 12. 環境影響情報

製品に関する有用な情報なし。

内容液及び個別成分についての有害性情報を記載する。

水生毒性 (内容液)

水生生物に非常に強い毒性。

長期的影響により水生生物に毒性。

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

エチルベンゼン

水生毒性	: LC50=0.4mg/L/96H(甲殻類; ブラウンシュリンプ) (CERI・NITE, 2006)
水溶解度	: 0.015g/100mL(20°C) (ICSC, 2007)
残留性・分解性	: 本質的に易分解性があり、水中から速やかに揮散する。(SIDS, 2005)
生体蓄積性	: log Pow=3.1 (ICSC, 2007)

キシレン (異性体混合物)

水生毒性	: LC50=3.3mg/L/96H(魚類; ニジマス) (CERI・NITE, 2005)
生体蓄積性	: log Pow=3.16 (PHYSPROP Database, 2005)

---

## 13. 廃棄上の注意

※ 廃棄する際には、ガス (噴射) を完全に抜いた状態で行う。

残余廃棄物 : ガスを完全に抜いた後の内容液は都道府県知事の許可を受けた産業廃棄処理業者と委託契約をして、処理を委託する。

汚染容器及び包装 : 中味を使い切ってから、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを完全に抜いてから各地方自治体の規則に従って廃棄する。

#### 14. 輸送上の注意

共通注意事項	: 取扱い及び保管上の注意の項を参照するほか、運搬に際しては容器を40℃以下に保ち、容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下損傷がないように積込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
国際規制	
国連番号	: 1950
国連分類	: 2.1
国内規制	
陸上規制情報	: 消防法、高圧ガス保安法の定めるところに従う。
海上規制情報	: 船舶安全法、港則法の定めるところに従う。
航空規制情報	: 航空法の定めるところに従う。
緊急時応急措置指針番号	: 126 (容器イエローカード指針番号)

#### 15. 主な適用法令

消防法	: 危険物 第四類第二石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	: 危険物 可燃性のガス、引火性の物 : 表示対象物質 キシレン (異性体混合物) : 通知対象物質 エチルベンゼン、キシレン (異性体混合物)、ブタン : 有機溶剤中毒予防規則 第二種有機溶剤等 キシレン (異性体混合) : 健康障害防止指針公表物質 エチルベンゼン
化学物質管理促進 (PRTR) 法	: キシレン、エチルベンゼン
高圧ガス保安法	: 適用除外 (液化ガス・可燃性ガス) 但し、政令告示並びに高圧ガス保安一般規則規定に従う。
船舶安全法	: 引火性高圧ガス
港則法	: 引火性液体類及び高圧ガス
航空法	: 高圧ガス (エアゾール)
海洋汚染防止法	: 有害液体物質 (Y 類) エチルベンゼン、キシレン (異性体混合物)

#### 16. その他情報

##### 参考文献

JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」

GHS 分類結果データベース (独立行政法人製品評価技術基盤機構-NITE)

液化石油ガス SDS

原材料メーカーの SDS

##### <注意事項>

本データシートは通常を取り扱いを対象とし、ここに記載された内容は現時点で入手できた情報やメーカー所有の見解に基づいて作成したものです。いかなる保証もするものではありません。  
全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには充分注意して、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。また、特別な取り扱いをする場合には、ご使用者の責任において新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえでお取り扱いをお願いします。